

AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川放射線技師会会誌 (2002) 24:61～63.

転移性石灰化肺の1症例

石川幸雄、柏葉綾子、佐藤順一、高橋康二、秀毛範至、沖崎貴琢、油野民雄

転移性石灰化肺の1症例

旭川医科大学医学部附属病院 放射線部 ○石川 幸雄 柏葉 綾子
放射線科 佐藤 順一 秀毛 範至
高橋 康二 油野 民雄
沖崎 貴琢

【はじめに】

今回報告した転移性石灰化肺は、種々の原因で生ずる疾患である。例えば、慢性腎不全、二次性副甲状腺機能亢進症、原発性副甲状腺機能亢進症、骨悪性腫瘍、ビタミンD過剰症、ミルクアルカリ症候群など様々である。病態・画像所見より鑑別診断、そして最終診断（確定診断）にもっていく過程を実際に色々なモダリティを駆使しながら、検証していく。

《胸部X線写真これをどう読む？》

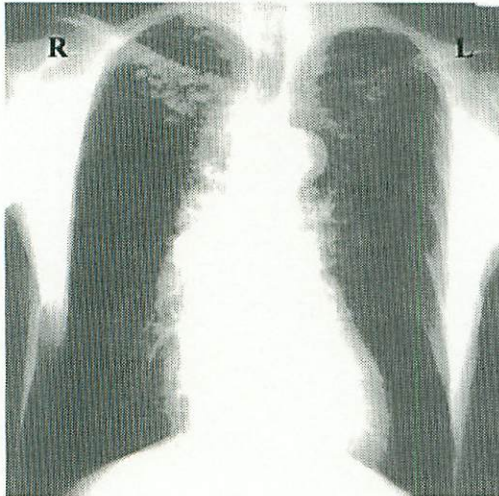


Fig. 1 胸部X線写真これをどう読む？

患者の症状については、多くは無症状まれに呼吸不全がある。さてFig. 1に示す胸部X線写真を解説すると、上肺野（S¹+S²）に優位に分布する集合傾向を有する無数の結節病巣があり、それは石灰化しているかもしれない。そして斑状変化・硬

着・スリガラス状変化・胸壁血管の石灰化がみられる。

《骨シンチグラフィこれをどう読む？》

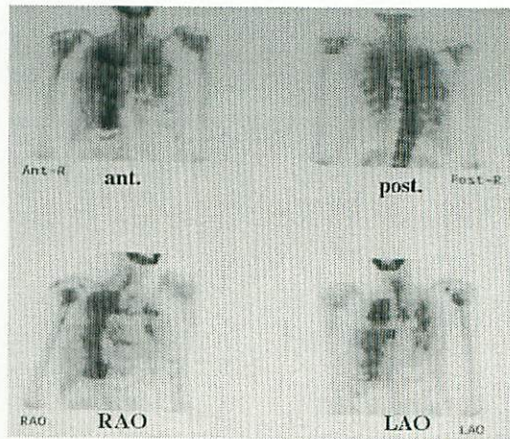


Fig. 2 骨シンチグラフィこれをどう読む？

Fig. 2に示すように、肺野に骨形成以外の集積を認める。そして、それは上肺野優位に分布している。骨外集積に関して二つの起序がある。一つは転移性石灰化といわれるもので、副甲状腺亢進症・腎性骨異常栄養症などの、代謝異常により軟部組織である肺・胃・腎臓にカルシウムが集積する。もう一つは、変性性石灰化といわれるもので、組織変性部や壊死部にカルシウムオーバーロードが起りカルシウムが集積する。筋挫滅・横紋筋融解症・心筋梗塞・石灰化を示す腫瘍がそれに該当する。¹⁾

《胸部単純X線CT像をどう読む？》

その患者の病態としては、血清Ca、P

の上昇及び局所的pHの上昇している。肺胞隔壁が目立つようになってきた。癒着を引き起こし間質の繊維化が進むと、呼吸不全を呈することもあるようだ。

《胸部単純X線CT像所見の解説》

Fig. 3・4より、上肺野優位にカルシウムが沈着して、肺の石灰化を呈している。

《腹部単純X線CT像をどう読む？

及び腹部単純X線CT像所見の解説》

Fig. 5・6より、腎実質に彌慢性に石灰化を伴う病態と、腹部大動脈血管壁の一部に石灰化がある。ここで、腎結石と腎石灰化とを正しく鑑別することが重要である。

後者は腎実質に彌慢性に石灰化を伴う病態を指す。²⁾

【最終診断】

肺の石灰化を呈する疾患である感染(Tb・真菌・水痘)・塵肺・サルコイドーシス・僧房弁狭窄³⁾・肺胞微石症・過カルシウム血症⁴⁾・腎移植に合併する閃光性石灰化肺⁵⁾と鑑別され、慢性腎不全及び二次性副甲状腺に由来する転移性石灰化肺と診断された。

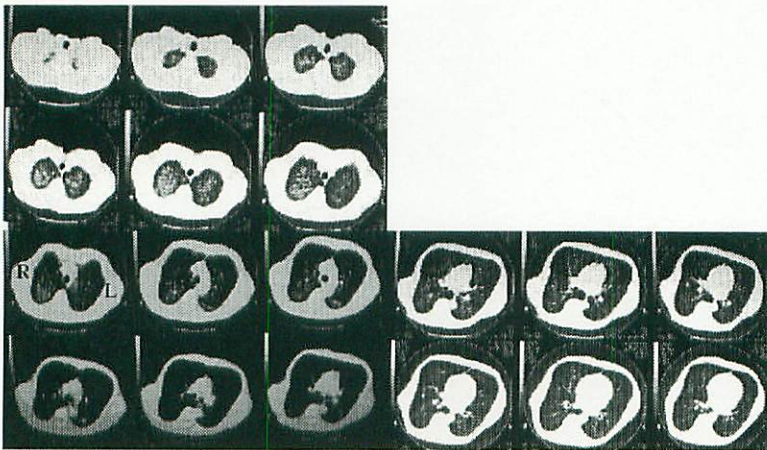


Fig.3 胸部単純X線CT像をどう読む？



Fig.4 胸部単純X線CT像所見の解説

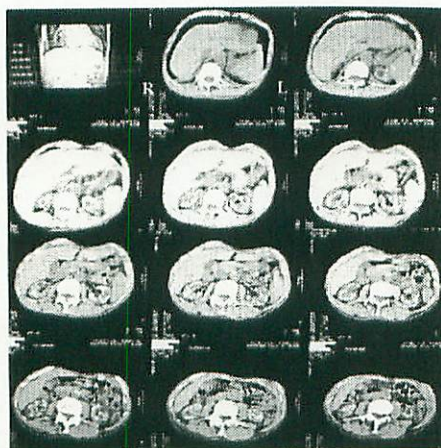


Fig.5 腹部単純X線CT像をどう読む？

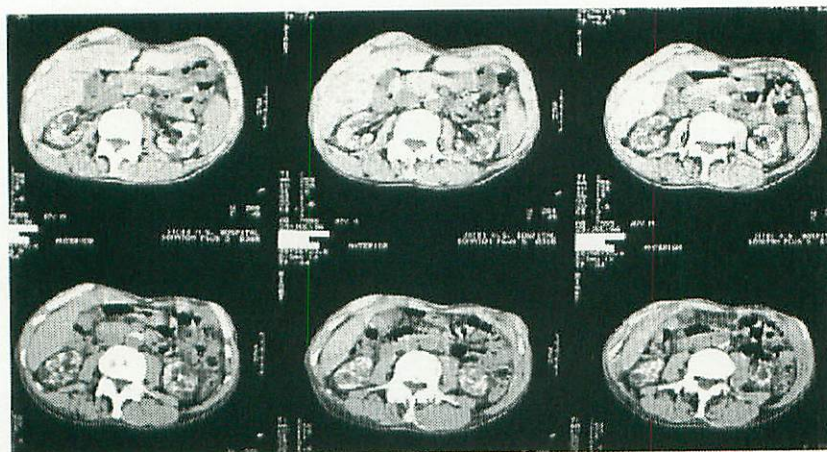


Fig.6 腹部単純X線CT像所見の解説

【参考文献】

- 1). 久田欣一, 利波紀久 他: 骨シンチグラフィ, 最新臨床核医学, 3 編: P 335, 1999.
- 2). 大友 邦: 腎臓・尿管, はじめての腹部CT: P179, 2000.
- 3). Tania Mamou Mani, Denis Lallemand, et al: Metastatic Pulmonary Calcifications after Cardiac in Children, Radiology, 174:463-467, 1990.
- 4). Thomas E. Hartman, Steven L. Primack, et al: Metastatic

Pulmonary Calcification in Patients with Hypercalcemia, AJR, 162:799-802, 1994.

- 5). Janet E. Kuhlman, Hua Ren et al: Fulminant Pulmonary Calcification Complicating Renal Transplantation: CT Demonstration, Radiology, 173:459-460, 1989.